

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391100100
事業所名	グループホーム 結

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	地域の傾聴ボランティアが月に何度か訪れ、利用者の話し相手になってもらっている。福祉会館の作品展を見に行き、今後は利用カードを作り遊びに行く予定である。また、学生の職場体験や実習生の受入れを行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	会議は民生委員、いきいき支援センター職員、家族、老人会会長などの出席のもと年6回行われている。今後は福祉会館の人の出席も得られることになっている。会議の中で、認知症についてや熱中症、食中毒についてなどの勉強会も行い、出席者より参考になったと喜ばれている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	併設の小規模多機能ホームと合わせて市町村と連携を取っている。港区主催の介護事業者連絡会に参加しており事業所の実情や取組みを話し合い、協力体制を構築している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族の来訪時には、意見や要望を聞き取り記録に残し、会議で話し合い共有している。家族より介護内容について教えてほしいと言われ、詳しく説明している。便りは年2回誕生日会の様子や行事のことを写真付きで報告している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	—	—	—	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。